

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M3440301		生命ホメオスタシス解析学 (Homeostasis Analysis)					生命健康科学コース専門分野		対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
選択	2	3	医学部先進医療科学科	前期	月4,月5,木3,木4,金5	日本語			複数(共同)						
担当教員	氏名 手嶋 泰之、文室 知之、加藤 優子、藤木 稔、薮内 健一 E-mail teshima@oita-u.ac.jp 内線 32701														
授業の概要	脳波、誘発電位、睡眠ポリグラフ、神経伝導、血管および末梢神経超音波検査の実習を行い、脳波、誘発電位、睡眠ポリグラフ、神経伝導の各検査で描出される波形について最低限の判読能力を身につける。血管および末梢神経超音波検査では解剖知識に基づいた病態への理解を深める。実習では学生が互いに被験者となり、機器の操作、被験者への検査説明など生理検査の円滑な進行に必要な技術・関連知識を修得する。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 生理検査の手法や臨床的意義を理解できる。															
目標2 健常と各疾患の検査結果の違いについて理解できる。															
目標3 生理検査で用いる機器の特性と原理について理解できる。															
目標4 検査の安全管理や患者対応について理解できる。															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									6	2		2			
授業の内容															
1 (学内実習)オリエンテーション:各実習項目の説明と進め方															
2 (学内実習)脳波(安静)1															
3 (学内実習)脳波(安静)2															
4 (学内実習)脳波(誘発電位)1															
5 (学内実習)脳波(誘発電位)2															
6 (学内実習)睡眠ポリグラフ1															
7 (学内実習)睡眠ポリグラフ2															
8 (学内実習)筋電図(神経伝導)1															
9 (学内実習)筋電図(神経伝導)2															
10 (学内実習)超音波検査(頸部血管)1															
11 (学内実習)超音波検査(頸部血管)2															
12 (学内実習)超音波検査(末梢神経)1															
13 (学内実習)超音波検査(末梢神経)2															
14 (学内実習)検査結果の解析と評価(総括)1															
15 (学内実習)検査結果の解析と評価(総括)2															
ラーニング	A:知識の定着・確認		予習、レポート作成			工 夫 の 他 の	・生理学的な基本的手技を習得し、解析法を理解する。さらに実習を通してその原理を具象化する。 ・学生からの質疑に対して、ハンズオンで解説する機会を頻繁に設ける。								
	B:意見の表現・交換														
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		実習書の事前学習 (30 h)												
	事後学修		レポートの作成 (38 h)												
	想定時間合計		68												
教科書	教科書は指定しない。実習前に資料(実習書)を配布する。														
参考書	参考書は指定しない。														

